

2019年度第3回日本生理学会教育委員会

日時 2019年11月17日(日) 11時00分～
会場 東京慈恵会医科大学2号館11階1101会議室
出席者 安西尚彦(千葉大)、石松秀(西九州大)、江崎誠治(大阪大谷大)
奥村哲(静岡理工科大)、河合佳子(東北医薬大)、鯉淵典之(群馬大医)
小山なつ(滋賀医大)、椎橋実智男(埼玉医大)
渋谷まさと(女子栄養短大)、曾我部隆彰(生理研)
田中美智子(宮崎県立看護大)、中島昭(藤田医科大)
南沢享(東京慈恵会医大、オンライン出席)
リエゾン 佐藤麻紀(愛知医科大)
欠席者 岡本圭一郎(新潟大歯)、渡邊マキノ(順天堂大)

議長 椎橋実智男 書記 渋谷まさと

【報告事項】

1. 前回教育委員会議事録について(資料1)

資料に基づき承認された。

2. 認定委員会報告(資料2)

椎橋委員から、以下の報告があった。初めて認定資格更新の時期となり、認定会員数の増減、その対応などが検討された。教育プログラムにおけるアンケートにEducator制度に関する質問の加筆、規定における(実働のない)認定試験の項目削除が承認された。シニア制度に関しては引き続き検討していくこととなった。

3. 日生誌教育のページの進捗状況について(資料3)

入稿、発刊などが順調であることが確認された。また、小山委員から、Education担当は作業が多いため、担当者の二人への増員が提案された。

4. 生科連シンポジウム報告(資料4)

渋谷委員から生科連定例会議、シンポジウム、特に高校教科書、教育用語問題に関して報告された。用語の選定に関するパブリックコメントは、日本生理学会を含め、10余りの学会等の団体から寄せられたが、日本生理学会の意見は殆ど採用されなかった。高校教育において探求的課題が多くなっており基礎的用語だけが入試で許容される方向ではないこと、「生理学用語集」編集委員会、日本医学会用語委員会等との連携の重要性などが協議された。

5. 第5回医学生生理学クイズ大会進捗報告

南沢委員長から、次回(2020年5月30日)の開催が決定されたことが報告された。教育委員会が後援となるため、次回本会議で改めて協力が要請される予定である。

6. 生理学用語集の現状

鯉淵委員から執筆依頼などの予定が報告され、協力が要請された。

7. 次回教育委員会は2020年3月16日(月)11時～13時に別府ビーコンプラザで開催されることが確認された。

【協議事項】

1. 第97回日本生理学会大会における教育講演/モデル講義/ワークショップの進行について(資料5)

- 1) 資料に基づいて日程、役割分担を協議して決定した。今回、大会中、各委員が会場で業務担当するのは、原則半日とした。
- 2) 模擬講義のビデオ撮影とその公開に関しては、収録そのものだけではなく、肖像権、著作権の処理を含む人的、経済的負担を鑑み、今回は中止することにした。今後は会員の要望や学会からの予算措置の有無などを総合的に考え、再開を検討することにした。
- 3) ポイント付与の点数、ワークショップ報告を日生誌に投稿することなども決定した。ポスターに関しては今後の検討となった。

2. 次期教育委員会体制について

今期の委員会体制は2020年3月の学会大会の本会議までであることを確認した。

新委員長は次期生理学学会執行部により決定されるが、現時点では現委員は原則として継続して頂きたい旨の発言が、南沢委員長よりなされた。ただし、鯉淵委員、小山委員、岡本委員は今期までとの報告があった。新たな委員候補を募り、新旧バランスのとれた新体制作りを進めることが確認された。